

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
218	日本語学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本語学	宮地 朝子(MIYACHI, Asako)		後期	月曜：2限
講義題目 Title	日本語文法研究の諸問題			
単位 Credit	2			
備考 Others	専修			
履修条件 注意事項 Requirements for registration				
授業の目的 Purpose	<p>日本語の文法現象を分析する具体的な方法論・処理法について、論文の読解・批判的検討の実践を通じて身につける。幅広い文法現象の先端的な成果に触れて視野を広げ、問題設定の力についても向上をはかる。発表・議論等のスキルトレーニングも目的とする。</p> <p>By the end of the course, students should be able to do the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Recognize and recall major terms and concepts in grammatical study on Japanese. ・ Evaluate major studies in terms of their methods, results, conclusions and implications. ・ Apply methods or viewpoints to specific grammatical phenomena. 			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>演習形式とする。広く「日本語」の「文法」の問題を扱った論文の中から、発表担当者自らの興味ある問題を扱ったものを取り上げ、受講者全員で議論する。</p> <p>発表担当者は、以下の1)～6)の作業を通じ、論文の読解・内容批判・問題点の指摘・発展的課題への言及を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 論文をさがす 2) 読み込む 3) 問題点を押さえ、発展的課題を見つける 4) 必要に応じて検証 5) 資料作り 6) 発表 <p>(1.論文情報, 2.概要・要旨, 3.問題の所在, 4.問題点, 5.発展的課題)</p> <p>発表時間は1時間以内に収めつつ、90分の授業時間の議論に必要な基礎情報と問題点・議論の材料の提示という義務を果たすこと。</p> <p>初回に論文の探し方を含むガイダンスを行う。2週目からは受講者の発表に入る。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	発表者の取り上げる論文・文献			
参考書 References	<ul style="list-style-type: none"> ・『これから研究を書くひとのためのガイドブック』佐渡島紗織、ひつじ書房。 ・『研究以前のモンダイ 看護研究で迷わないための超入門講座』西條剛央、医学書院。 ・『はじめての論文 語用論的な視点で調査研究する』田中典子、春風社。 <p>その他、授業時に指示する。</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	<p>授業前) 各回に取り上げられる論文を読んでおく。</p> <p>発表担当者: 授業前) 取り上げる論文の選定(発表1週間前までに決定し告知) 発表資料の作成</p> <p>発表担当者: 授業後) 議論を踏まえての発展的調査・追究(レポート準備)</p>			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	<p>以下の観点により総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点(議論への参加・貢献度20%) ・担当回の発表(40%) ・期末レポート(担当回の発表・議論を踏まえてまとめる。発展的追究を含むものは高く評価する。)(40%) 			

連絡方法
Contact
information

メール : miyachia@nagoya-u.jp